

令和3年度

第51期生

実務経験のある教員等による授業科目

科目名	在宅看護援助論Ⅱ (在宅看護演習)	授業科目名	看護技術 理学療法 看護過程
授業回数・時間	15回 30時間	開講年次	3年次 前期
単位	1単位		
担当教員	藤田俊文 相馬美智子 平田紀子		
科目目標	1. 訪問看護に必要な技術を習得する。 2. 在宅リハビリテーションの基本を理解する。 3. 在宅での看護過程の実際を学ぶ。		
学習内容	1. 在宅ケアに必要な看護技術の演習 2. 在宅における技術・介護用品の工夫 3. 在宅ケアの基本となる理学療法の演習 1) 安全・安楽なトランスファー 2) 関節可動域の維持 3) 肺理学療法の基本 4. 事例を用いた在宅におけるケアプラン		
授業計画			
回	講義内容	備考	
1	在宅看護とは		
2	在宅看護過程の考え方		
3	在宅看護論Ⅱ演習		
4	在宅看護アセスメントについて		
5	在宅看護関連図について		
6	在宅看護援助計画について		
7	在宅看護援助 演習		
8	在宅看護援助 演習		
9	口腔ケアについて		
10	口腔ケアについて		
11	理学療法とは		
12	動作介助について		
13	動作介助について		
14	動作介助演習		
15	動作介助演習		
教科書	在宅看護論		
授業形態	講義 演習		
評価方法	課題提出 出席状況 授業への参加度(発表・態度など)		

令和3年度

第51期生

実務経験のある教員等による授業科目

科目名	看護の統合と実践Ⅰ 看護技術総合演習	授業科目名	看護の統合と実践Ⅰ 看護技術総合演習（事例を用いた輸液ポンプ、シリンジポンプ、点滴滴下計算）
授業回数・時間	8回 16時間	開講年次	3年次 後期
単位	1単位（フィジカルアセスメント技術演習7回14時間と合計で30時間1単位）		
担当教員	鳴海美紀子 舘坂恵 小堀未希 清藤由季		
科目目標	看護の対象を統合的に理解し、対象の健康問題に応じた看護技術の提供を理解する。		
学習内容	事例を用いた看護技術演習（タイムプレッシャー・多重課題等含む） 輸液ポンプ、シリンジポンプ、点滴滴下計算		事例を用いた輸
授業計画			
回	講義内容	備考	
	事前学習および知識確認テストの提示	各論実習終了後	
1	技術試験内容のオリエンテーション		
2	知識確認テスト		
3	技術試験	12月1日	
4	技術試験	12月1日	
5	技術試験	12月2日	
6	技術試験	12月2日	
7	技術試験	12月3日	
8	技術試験	12月3日	
教科書	基礎看護技術Ⅱ：医学書院 看護技術プラクティス：Gakken		
授業形態	講義・演習・技術試験		
評価方法	筆記試験・技術試験・出席状況・課題レポート ※最終評価はフィジカルアセスメントとの合算になる		

令和3年度

第51期生

実務経験のある教員等による授業科目

科目名	看護の統合と実践 I (看護技術総合演習)	授業科目名	看護の統合と実践 I (看護技術総合演習)
授業回数・時間	7回 14時間	開講年次	3年次 後期
単位	1単位(看護の統合と実践 I 技術を含む)		
担当教員	鳴海美紀子		
科目目標	看護の対象を統合的に理解し、対象の健康問題に応じた看護技術の提供を理解する。		
学習内容	事例を用いた看護技術演習を行う (タイムプレッシャー・多重課題等を含む)		
授業計画			
回	講義内容	備考	
1	フィジカルアセスメントに必要な知識と技術	講義	
2	呼吸音の聴取、異常音	*演習1 5点	
3	心音の聴取、異常音	*演習2 5点	
4	どんな疾患かアセスメントしてみよう	グループワーク	
5	フィジカルアセスメント知識確認テスト	筆記試験	
6	呼吸音と心音の正常・異常	技術試験	
7	呼吸音と心音の正常・異常	技術試験	
教科書	山内豊明：フィジカルアセスメントガイドブック第2版：医学書院		
授業形態	講義 演習		
評価方法	筆記試験50点 技術試験30点 出席状況 授業参加度10点		

令和3年度

第51期生

実務経験のある教員等による授業科目

科目名	医療安全	授業科目名	医療安全の基礎
授業回数・時間	7回 15時間 (試験1時間含む)	開講年次	3年次 後期
単位	1単位(を含む)		
担当教員	白取 彩香		
科目目標	医療安全とリスクマネジメントの基礎知識を学ぶ		
学習内容	1. 医療安全とリスクマネジメントの概念 2. リスクマネジメントのプロセス 3. 危険予知能力と事故防止		
授業計画			
回	講義内容	講師又は備考	
1	医療安全とコミュニケーションⅠ		
2	医療安全とコミュニケーションⅡ		
3	業務領域を超えて共通する間違いと発生要因		
4	KYT 必要性・演習		
5	組織的な安全管理体制への取り組みとわが国の医療安全対策の展望		
6	事例分析 ImSAFER	講義	
7	事例分析 ImSAFER	演習	
	試験		
教科書			
授業形態	講義 演習		
評価方法	筆記試験 課題提出 出席状況		

令和3年度

第51期生

実務経験のある教員等による授業科目

科目名	看護の統合と実践Ⅱ (医療安全・災害看護)	授業科目名	看護の統合と実践Ⅱ (医療安全・災害看護)
授業回数・時間	7回 14時間	開講年次	3年次 後期
単位	1単位 (医療安全・災害看護演習含む)		
担当教員	佐藤絢子、小堀未希		
科目目標	1. 医療事故の分析手法と予防対策検討の基礎を学ぶ 2. 災害時に必要な看護の基本を演習体験を通して学ぶ		
学習内容	1. 事故予防対策演習 2. 救急蘇生法の演習 3. 災害トリアージ・搬送等の演習		
授業計画			
回	講義内容	講師又は備考	
1	CSCATTT に基づいた受け入れ案の作成		
2	災害看護演習・オリエンテーション		
3	災害看護演習・受け入れ計画立案		
4	災害看護演習 一次トリアージ		
5	災害看護演習 二次トリアージ		
6	災害看護演習 シミュレーション	演習	
7	災害看護演習 シミュレーション	演習	
教科書			
授業形態	講義 演習		
評価方法	筆記試験 課題提出 出席状況		